

都市・ひと・自然を考える

10月4日は「都市ビル環境の日」

2018

第24回

都市ビル環境の日

テーマ

建築物環境衛生サービスの新潮流
～いま何が求められているか!～

公益社団法人 福岡県ビルメンテナンス協会



公益社団法人
福岡県ビルメンテナンス協会
会長

金子 誠

額の汗を拭って 花のビルメンテナンス時代へ

2018「都市ビル環境の日」第24回行事を福岡県の後援のもと、多くの地元行政自治体並びに協力関係団体の協賛を頂き、本年も開催できますことに深く感謝申し上げます。

特に今回は「ビルメンテナンス青年部全国大会in福岡」と連携して実施する運びとなり、活きた世代継承の機会にもなることと期待されるところでです。

シンポジウムテーマを「建築物環境衛生サービスの新潮流～いま何が求められているか!～」と題し、特にオーナー視点(ユーザー起点)から新しい時代に求められるビルメン将来像を探ろうとするものです。建築業界の言葉で「花の建設 涙の保全」と云うものがあります。その意味するところは、業界人であれば察せられることと思います。戦後の高度経済成長期に建設された大量の建築ストック群は、いま深刻な老朽劣化に晒されています。54年前に竣工した前回東京オリンピック時の社会インフラが2020東京オリンピック・パラリンピック開催を前に、その機能不全が顕在化しています。それは取りも直さず、健全かつ適格な計画的保全が蔑ろにされてきた証左でもあります。そして、その時代の土台を汗を流して(時には涙を流して)懸命に支えて来たのも、我々ビルメンテナンスの仕事に他なりません。いまビルメンテナンスは“人手不足”という危機を契機として、先達が流してきた汗の意味と真摯に向き合い、時代が求める新しいビルメンテナンス業を切り開いていこうとするものです。業界発展の基である健全な労働集約力を加速するデジタル社会化の渦中でどのように甦りイノベーションしていくか、業界人挙げて考え抜きたいと意図します。

10月4日、会場(ホテルオークラ福岡)への皆さまのご参集を心待ちに、行事開催のお礼のご挨拶とさせていただきます。

10月4日「都市ビル環境の日」設定趣旨

コミュニティの快適な環境創造をめざして

林立するビル、縦横に走る高速道路、地下を走る公共鉄道。都市のイメージは、巨大な構造物で語られがちです。しかし、その都市のなかでは日々仕事に汗を流し、営々と生活を続けている多くの人々がいることを忘れてはなりません。人類の生命活動から考えるならば、都市は人々が交流するコミュニティと捉えることができます。生活空間、仕事空間、あるいは余暇空間など、様々な都会空間のなかで小さなコミュニティを築き、そのコミュニティが交流し合いながら大きなコミュニティを形成してきました。

私たちビルメンテナンスは、ビルという構造物を単にメンテナンスするだけでなく、このコミュニティを常に快適な状態に維持しようと努めてきました。仕事の間としての事務所ビル、生活の間としての高層住宅ビル、余暇の間としての興業場ビル、健康回復の間としての病院ビル。ビルは都市機能の重要な要素というだけでなく、そのビルで営まれる様々なコミュニティこそ都市機能の基盤であり、私たちは、そのコミュニティを安全かつ衛生的で、快適な環境に創り上げていくことを基本的な目的としています。

したがって私たちは、コミュニティの結び付きで形成されてきた都市の環境全般に対しても無関心ではられません。個々のビルの快適環境だけでは、都市環境はバランスを欠きます。個々のビルが所属する地域の環境を良好にしてはじめて、そのビルが地域コミュニティに存在する意味があると考えます。その積み重ねのなかで都市全体を快適な環境に創り上げ、市民が豊かで住みやすい街として愛することのできる都市に育てていかなければなりません。

福岡県は、福岡市と北九州市の百万都市を抱えながらも、幸いにして自然と身近に接する環境に恵まれています。私たちは、その自然と融合できる都市環境を築き上げていかなければなりません。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会は、自らの仕事が都市との強い結び付きのあることを考え、住みよい街づくりに貢献していくことを目的として、10月4日を「都市ビル環境の日」と定め、県民に都市の環境づくりを積極的にアピールしていきます。



福岡県知事
小川 洋

**建築物環境衛生サービスが、
今後もニーズの多様化を捉えながら
発展していくことを期待しております**



福岡市長
高島 宗一郎

**高度な技術と豊富な経験を活かし
福岡市の諸施策へのご支援・
ご協力をお願いします**

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、昭和54年の設立以来、建築物における衛生的環境や安全性の確保を目指し、作業従事者の資質向上のための教育・研修事業や広報啓発活動などを通じたビルメンテナンス事業者の指導育成にご尽力いただいております。

毎年10月4日の「都市ビル環境の日」に開催される本記念行事では、シンポジウムや子ども絵画コンクールの開催、清掃美化活動「クリーンアップ福岡」の実施など、県民の建築物環境衛生の意識向上のために幅広く取り組んでいただき、深く感謝いたします。

さて、近年、ビルメンテナンス業の分野では、高品質な建築物環境衛生サービスを継続的に維持するため、建築物の衛生的環境や快適性の確保のみならず、エコチューニングなどによる省エネ対策やロボットを活用した人材不足への対応、BCP策定をはじめとした防災安全のための取り組みなど、新たな課題への対応が求められています。

このような中、「建築物環境衛生サービスの新潮流～いま何が求められているか!～」をテーマにシンポジウムが開催されますことは、建築物の衛生的環境維持に大きく貢献している建築物環境衛生サービスが、今後もニーズの多様化を捉えながら発展していくために大変有意義であると考えています。

県としても、建築物やその設備が適正に管理され、利用者である県民の皆さまが安心して快適に暮らせる社会づくりを目指しています。今後とも、貴協会のご協力をよろしく願いいたします。

本年行われるさまざまな行事を通じて、建築物環境衛生に対する県民の皆さまの意識がますます高まることを期待するとともに、記念行事のご成功と貴協会の今後ますますのご発展、会員の皆さまのご健勝とご活躍を心から祈念いたします。

「都市ビル環境の日」行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会におかれましては、建築物の衛生的で快適な環境を確保するため、業界全体のレベルアップにご尽力いただいていることに深く敬意を表しますとともに、街の清掃活動などを通じて、建築物の環境衛生にとどまらず、快適で住みよいまちづくりにご貢献いただいていることに厚くお礼申し上げます。

また、毎年行われている本行事でのシンポジウムなどを通じて、環境衛生に対する市民の意識がますます深まり、貴協会の活動が広く認識されることを心から願っております。

さて、福岡市では、「都市の成長と生活の質の向上の好循環の創出」を都市経営の基本戦略として掲げ、これを実現し、より確かなものとするため、市民・企業や団体の皆様とともに様々な取り組みを進めております。その結果、現在人口は157万人を超え、福岡市を訪れる観光客数も2,000万人を突破しており、元気なまち、住みやすいまちとして国内外から評価されております。

また現在、国家戦略特区の規制緩和などを活用して民間ビルの建て替えを誘導する「天神ビッグバン」などのプロジェクトを推進し、都市機能を強化しています。社会インフラを適切に維持、更新するとともに、快適かつ安全な環境を確保することは、そこで活動する人々の健康を守るために不可欠であり、ビルメンテナンス業の果たすべき役割もますます重要になってきております。

ビルメンテナンスに関して高い技術と豊富な経験をお持ちの皆様には、これまで以上に本市の施策への御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、貴協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈りいたします。



北九州市長
北橋 健治

皆様の優れた技術や知識が 次代へ継承されることを期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物の衛生的で快適な環境と安全性を確保するため、日頃から建築物のメンテナンス業務を通して技術や知識の向上に努められており、深く敬意を表します。また、関係業界の指導育成や地域の環境衛生の改善にご尽力いただくとともに、県内各地での清掃・美化活動など、住みよいまちづくりにも積極的に取り組んでいただいております。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今年度の都市ビル環境の日では、『「建築物環境衛生サービスの新潮流」～いま何が求められているか！～』をテーマにシンポジウムが開催されると伺っています。近年、グローバル化や少子高齢化による人材不足などの社会情勢の変化に伴い、今後も永続的に高品質なサービスを提供するための仕組みが求められています。このシンポジウムの開催が、新たなアイデアの創出につながり、また、皆様の優れた建築物メンテナンスの技術や知識が次代へ継承されることを大いに期待しています。

さて、北九州市は、本年6月に、国連で全会一致で採択された17のゴールを定めた「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向け、自治体のモデルとなる「SDGs 未来都市」に国から選定されました。

このゴールの中には、「住み続けられるまちづくりを」という目標も掲げられており、建築物環境衛生サービスの提供や街の清掃活動「クリーンアップ福岡」の実施など、皆様の活動がSDGsの目標の達成につながっています。

今後とも、皆様と一丸となって、市民生活の質の向上につながるSDGsの達成に取り組んで参りたいと思っておりますので、皆様のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。



久留米市長
大久保 勉

安全で衛生的な 都市環境づくり活動に期待します

「都市ビル環境の日」の記念行事が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、建築物における衛生的で快適な環境を確保するため、また、安全・安心な環境の構築を行うために、日頃から建築物に関する正しい専門知識と技能の普及にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。

今年度は、「建築物環境衛生サービスの新潮流」をテーマとしてシンポジウムが開催され、これからの人口減少社会において、高品質な建築物環境衛生サービスを永続的に維持するため、新たな取り組みを提案する試みに深く敬意を表します。

さて、私は、去る1月21日行われました久留米市長選挙におきまして、市長に就任いたしました。市民一人ひとりが主役となり、全ての市民が元気に明るく暮らせるまちづくりを進め、「夢と希望を実現する生活空間」を創り、その集大成として「住みやすさ日本一」の久留米を目指しています。

今年度、重点的に取り組む施策の一つである、「快適な都市生活を支えるまちづくり」では、今後、高度経済成長期に建設された施設が次々と老朽化を迎えることから、限られた財源の中で中長期的な視点に立った予防的な保全や整備を総合的に進め、施設の長寿命化を図っていくことが必要になっていきます。そのためにも、施設に日々良質な維持・メンテナンスを行っていくことが必要不可欠であり、今後とも貴協会の皆様のご協力をお願いいたします。

結びになりますが、公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたします。

Theme

建築物環境衛生サービスの新潮流 ～いま何が求められているか!～

建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)は、建築物の維持管理に関し、環境衛生上必要な事項等を定めることにより、公衆衛生の向上及び増進に資することを目的として昭和45年に制定されました。近年、衛生的で快適な生活環境への社会的ニーズの高まりや環境に配慮した建築物への関心の高まりに加え、グローバル化に伴う多様な利用者に対するサービスの多岐化など、建築物の環境衛生管理を取り巻く状況は大きく変化しています。

一方、建築物環境衛生サービスを提供するビルメンテナンス業は労働集約型産業であり、建物の衛生的環境維持のための高品質なサービス提供と維持には安定した労働力が不可欠であるにも拘わらず、近年の人材不足により環境衛生サービスの品質低下の事態に直面しています。これからのビルメンテナンス業は、高品質な建築物環境衛生サービスを永続的に維持できる新たな仕組みづくりを考える必要があります。

そこで今回は、ビルオーナーの視点から見たビル機能の進化やビルメンテナンスの新たな考えに焦点を当て、建築物環境衛生サービス維持のための新たな流れを考えることにしました。当協会の責務である衛生的環境の確保のため、いかにして建築物環境衛生サービスを継続し提供することで社会に貢献できるか、尚且つ人口減時代に即したビルメンテナンス業はこれからどうあるべきかをご一緒に考えてまいります。

Program

■日 時 平成30年10月4日(木) 14:00～16:30

■会 場 ホテルオークラ福岡 4階(福岡市博多区下川端町3-2)

13:00	受付開始				
14:00	開会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 会長	金子	誠	
14:05	来賓挨拶	福岡県知事	小川	洋	
		福岡市長	高島	宗一郎	
		北九州市長	北橋	健治	
		久留米市長	大久保	勉	
14:20	第11回子ども絵画コンクール入選作品発表				
15:00	基調講演 「ビルオーナーはいま何を求めているのか?!」	株式会社 昌平不動産総合研究所 取締役	清宮	仁	
16:30	閉会挨拶	公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会 副会長	西田	光博	

「ビルオーナーはいま何を求めているのか?!」



講師プロフィール

清宮 仁 セイミヤ ヒトシ

株式会社 昌平不動産総合研究所 取締役

■経 歴

1951年生 67歳 東京都出身
 1970年 高砂熱学工業(株)入社、開発部にてCR機器・個別空調PMACシステムの開発
 82年 日本PMAC(株)へ出向移籍
 90年 企画室長
 93年 技術サービス本部長代行
 98年 大阪支店長
 2000年 同社退職 (株)昌平不動産総合研究所入社、2002年同社取締役、現在に至る

■公務ほか

(一社)東京ビルディング協会 中小ビル事業委員会 幹事
 (一財)建築保全センター 公共施設保全業務共通仕様書30年改定作業部会員
 (公社)全国ビルメンテナンス協会 エコチューニング推進センター事業者認定部会委員
 日本環境管理学会 情報化ビルメンテナンス研究小委員
 東京都 中小テナントビル低炭素パートナーシップ会議員
 (株)オーム社 月刊「設備と管理」編集委員
 大日本図書(株) 建築不動産顧問
 高砂熱学工業(株) PM/FMアドバイザー

■資 格

ビル経営管理士・マンション管理士・宅地建物取引士・管理業務主任者
 一級管工事施工管理技士・特殊建築物調査員・建築設備検査員
 建築設備総合管理士・RC系マンション健康診断技術者・第一種衛生管理者 ほか

■その他

(公財)ビル管理教育センター表彰(2012年度)
 東京ビルディング協会編「中小ビルの経営者が出来る地球温暖化防止対策(共著)」(2009年度日本不動産学会業績賞)、「中小ビルの災害対応マニュアル(共著)」(事業継続推進機構BCAOアワード2012奨励賞)、「中小ビルのためのBCP作成支援ツール」(事業継続推進機構BCAOアワード2014特別賞)ほか、プロパティマネジメント、BCP、防災対策、省エネルギーなど、中小ビルに特化したビル経営、運営管理、建築設備に関する著述、講演

Concours

第11回子ども絵画コンクール

テーマ▶「未来のおそうじ～きれいにしよう、わたしたちの環境を～」

作品募集期間▶平成30年8月1日(水)～9月10日(月)

■作品展示期間／展示場所

福岡地区	期 間：平成30年10月3日(水)～10月8日(月) 場 所：福岡市総合図書館1階(福岡市早良区百道浜3-7-1)
北九州地区	期 間：平成30年10月17日(水)～10月21日(日) 場 所：北九州市水環境館(北九州市小倉北区船場町1-2)
久留米地区	期 間：平成30年10月10日(水)～10月14日(日) 場 所：久留米市一番街多目的ギャラリー(久留米市東町26-8)

「クリーンアップ福岡」に参集！

都市ビル環境の日 部会

吉次 正利 吉次商事株式会社

今年で24回目を迎える「都市ビル環境の日」シンポジウムは、ビルメンテナンス青年部全国大会が10月4日（木）に福岡市で開催されるため、ホテルオークラ福岡において共同開催で行います。

それに合わせ、福岡地区の「クリーンアップ福岡」は全国各地からお越しくくださる青年部メンバーの方にも是非参加していただき、これを機に「クリーンアップ福岡」の認知を全国に広げていきたいと思っています。

「クリーンアップ福岡」は、より多くの市民の皆様へアピールしていくことを目的としているので、福岡地区では昨年好評だった川端商店街や博多川の河川敷などの清掃活動を行います。そして、一部は移動しながらの粗ゴミ拾い部隊を編成し、川端通りや中洲方面へ移動しながら「クリーンアップ福岡」を大々的にアピールしてまいります。また、北九州地区では、例年どおり北九州市役所周辺で行います。北九州市は環境未来都市として、環境問題には非常に力を入れているので、「クリーンアップ福岡」は行政関係者からも称賛を受けています。

そのほか、太宰府・行橋・飯塚・田川・久留米・大牟田・大川・朝倉地区も昨年と同様に実施いたします。県内の各地区において、同じ時間に一齐に清掃活動を行うことによって、この事業が広く一般に認知され、ビルメンテナンス業界のイメージアップに繋がるよう努力してまいります。是非とも会員及び賛助会員の皆様、沢山のご参加をお待ちしております。

※写真はいずれも2017(平成29)年10月4日実施分



福岡



行橋



北九州



太宰府



飯塚



田川



大牟田



久留米



朝倉



大川



朝倉

会場

ホテルオークラ福岡 4階 (福岡市博多区下川端町3-2)

- 福岡空港より：福岡市地下鉄にて約9分、「中洲川端」駅下車、川端口改札から出て6番出口方面へ
- 博多駅より：福岡市地下鉄にて約3分、「中洲川端」駅下車、川端口改札から出て6番出口方面へ



主催

公益社団法人福岡県ビルメンテナンス協会

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目15番12号 藤田ビル2階
TEL(092)481-0431 FAX(092)481-0432

後援

福岡県

協賛

公益財団法人日本建築衛生管理教育センター
一般社団法人福岡県警備業協会
公益社団法人福岡県産業資源循環協会
公益社団法人福岡県建築士会
一般社団法人マンション管理業協会九州支部

一般社団法人全国管洗浄協会
一般社団法人西日本飲料水管理協会
福岡県管工事業協同組合連合会
一般社団法人福岡県ペストコントロール協会
一般社団法人九州ガラス外装クリーニング協会